

# お 知 ら せ

## 平成30年度愛媛県士会学術集会のお知らせと一般演題募集について

日程：平成30年12月16日（日）

午後：一般演題 13:00～14:00

：特別講演 14:30～16:30 福井医療大学 白坂康俊先生「ICF にそった言語聴覚療法—脱機能訓練偏重・地域参加重視へ—」

### 1. 締め切り

・演題申し込み締め切り：平成30年10月15日 演題名、発表者名、所属のみ

・抄録締め切り：平成30年10月31日（木）正午

### 2. 発表形式

発表7分、質疑応答3分、発表者を筆頭とし、発表者・共同演者となる言語聴覚士は、愛媛県言語聴覚士会の会員であること（演題申し込み時点では、会員/非会員を問いませんので発表当日までに会員登録をお願いします）。

### 3. 抄録について

・タイトル：全角80文字・抄録本文：全角800文字

・文字フォントはMS明朝またはMSP明朝、文字サイズは12ポイント

抄録に図表は使用できませんので予めご了承ください。

・抄録は、Microsoft Word 文書で保存したものをメールの添付ファイルにてお送り下さい。

### 4. その他

患者のプライバシー保護の為、倫理的な配慮をお願い致します。

・個人を特定可能な氏名、イニシャル、日付の記載は避けて下さい。

・日付は、個人が特定できないと判断される場合に、年月まで記載可とします。

・既に他院などで診断・治療を受けている場合は、その施設名を記載しないで下さい。

※平成26年4月以降の都道府県士会又は全国規模の学術集会における発表は日本言語聴覚士協会生涯学習プログラムの症例検討に該当しないこととなりました。

※発表の内容や準備に関する困りごとがあれば、学術・教育部が個別に対応致しますので気軽にご相談下さい。

演題申し込み先：E-mail:ehime\_st\_gakujutsu@yahoo.co.jp

問い合わせ先：愛媛大学医学部耳鼻咽喉科 飴矢美里

## 愛媛県言語聴覚士会 公開講座『摂食嚥下障害の見方と対応について』

日時：平成30年9月2日（日） 13:00～16:30 ※受付12:45～

内容：①『摂食嚥下の基礎知識』 講師：三瀬和人 先生（愛媛県立中央病院 言語聴覚士）

②『他職種との連携について』 講師：重松 舞 先生（済生会松山病院 言語聴覚士）

③『摂食嚥下リハビリの実践』 講師：河島邦宏 先生（松山リハビリテーション病院 言語聴覚士）

対象：摂食嚥下に関心のある方はどなたでもどうぞ。介護、看護、リハビリ、ご家族、学生など。

定員：120名（先着順）※先着順、定員に達し次第、募集を締め切ります。 参加費：無料

場所：松山市総合福祉センター5階中会議室 松山市若草町8-2（伊予鉄市内電車「古町」電停下車10分）

※駐車台数に限りがありますので、公共交通機関又は周辺コインパークをご利用ください。

申し込み方法：メールにてお申し込みください。申し込み先：st\_ehime@yahoo.co.jp 本文に①所属、②氏名、③職種、④連絡先メールアドレス（複数申し込みの場合は代表者の連絡先）を記載ください。※申し込み後、受付確認のメールを送りますのでドメイン@yahoo.co.jpの受信設定にご協力ください。



### □■編集後記■□

私は日本ディサースリア学会に参加してきました。  
従来のAMSDに嚥下評価項目を足したAMFDの臨床応用や、  
MTPSSE（エムティピーダブルエスイーと読むらしい）と言うハイブリッド運動機能向上プログラムについて学んで来ました。写真はクロスバーです。舌圧子で簡単に製作できます。（広報K）



## 愛媛県言語聴覚士会

事務局：松山リハビリテーション病院

言語療法科内

住所：松山市高井町1211番地

TEL:089-975-7431

FAX:089-975-1670

URL:<http://st-ehime.org/>

広報誌編集・広報・渉外部



愛媛ST

検索

## 愛媛 S T ニュース



## 副会長挨拶

社会福祉法人 恩賜財団  
済生会今治病院  
藤本 早苗



## 主な内容

- 副会長挨拶
- 日本言語聴覚学会
- 豪雨災害における ERAT 活動報告
- 職場紹介 ■ 学術集会のお知らせ
- 公開講座のお知らせ



林田会長になって2期目。新体制がスタートしました。今回は理事たちの様子をお伝えします。まず林田会長は、人見知りをしません。全国学会では、偉い先生方とすぐ親しくなり、色々な情報を収集していました。全国学会や法人化の話が出ている中、頼もしい限りです。

早々から積極的に活動しているのが広報部です。議事録やホームページの管理等々、マメな仕事ぶりには頭が下がります。理事会中財務部はお金の払い出しに大忙し。理事会では日当500円と少しのガソリン代をもらえます。それでラーメンを食べに行くのを楽しみにしている人もいます。私は帰りに温泉に寄るのが決まり事。ただ、最近は理事会が長引くことが多く、寄り道できず。議題が増え、さらに林田会長の話が長い。定刻に終われないことが多くなりました。終わった後にさらに話し込むこともしばしば。でも、気の合う人と会って話をするのは気分転換になります。会長と副会長の激やせに気づいた方もいると思います。私は、全く体重減少はありませんので、理事の仕事だけが原因という訳でもなさそうですけど。でも、業務後に集まることが多く、夕飯がおそろかになりがち。職場や道中の車で軽くおにぎりだけということがほとんどです。複数の会議があるので、多い時は週に何度も理事たちは顔を合わせます。理事の人たちは、忙しくも、楽しく県土会運営に勤しんでいます。「この先生の話聞きたかった」とか、「情報が得られて助かった」とか、会員の皆さんが喜んでくれることを糧に、日々頑張っています。これからもそれぞれできることから県土会へのご協力をお願いしたいと思います。

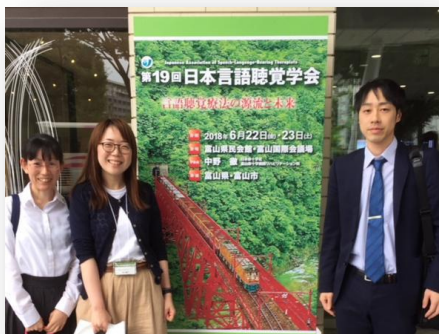


## 第19回日本言語聴覚学会



今年の6月22日、23日に富山県で開催された第19回日本言語聴覚学会に参加してきました。私にとっては初めての全国学会への参加で、不慣れながらも他県の先生と話をしたり、色々な講演を聞いたりしながら学会を満喫してきました。今回の学会は「言語聴覚療法の源流と未来」といった大きなテーマで、認知症、摂食・嚥下、高次脳機能、失語症、聴覚、吃音、小児、地域包括といった様々な領域の講演やポスター発表など内容は盛り沢山でした。特に「市民公開講座 発達障害に気づかない大人たちー思春期までの気づきと職業選択が重要」では、講師の先生が寸劇を挟みながらコミカルに話をされ、言語聴覚士だけでなく一般の参加者にも分かりやすい内容でした。あと、せっかくなので、富山の海の幸も堪能してきました♪

次回は海を挟んで隣の県、大分県で6月28日(金)、29日(土)に開催予定です！地域包括ケアに関するテーマで行うそうです！皆さんもぜひ、参加してみてください^^ 愛媛県視聴覚福祉センター 林 陽子



## 豪雨災害における ERAT 活動報告

7月上旬の西日本豪雨災害における南予地域の避難所支援に、ERAT チームの一員として参加しました。ERAT 活動は7/7の災害当日より対策本部を立ち上げ、7/9に現地調査を開始しました。本格的な現地支援は7/13からERAT チームの編成で日替わりで継続支援を行いました。

ERAT チーム内でSTが活動したのは7/14、7/15の2日間であり、私は7/15に理学療法士、社会福祉士の方々との4名編成で現地に向かいました。

活動内容としては、1. 大洲市総合福祉センターにてERAT 事務局長を交えて前日の活動申し送り、2. センター内会議室にて現地対策本部ミーティングに参加し当日活動の打ち合わせ、3. 指定された5箇所の避難所を巡回し要配慮者の確認やフォローを実施、4. 大洲市総合福祉センター内にて現地対策本部ミーティングに参加し活動報告、翌日への申し送り報告書作成およびERAT 派遣要請の有無等の確認を行う、といった流れでした。

巡回した避難所は全て前日までの活動にて環境アセスメントは整っており、一刻を争うような事態ではありませんでしたが、すでに発災より一週間が経過しており、避難所生活をしながら先行きの見えない今後に不安を訴える方々が複数いらっしゃいました。一方で、避難所運営をされている地域の自治会長さんなど現地支援者の疲労の色も伺えました。

実際に私が行った避難所支援としては、主に保健師さんが回りきれない避難所において要配慮者の発見とアセスメント、そして避難所からの要望等の情報を確実に持ち帰り、統括する現地対策本部に報告をする、という、一見するとSTの専門性は活かさない活動と思われるかと思えます。

しかしながら、リハ専門職でないと発見できないリスクを拾い上げ、確実に情報伝達することは非常に重要視されており、現場がリハ職に求める部分は活動を通じて徐々に拡大するのではないかと考えられます。

東日本大震災や熊本地震の時とは違う水害での避難所支援ということで、若干ですが現地支援のあり方も違う部分があると、熊本への支援経験があるスタッフの方がおっしゃられていました。しかしながらリハ職として専門的に関わることでできる生活不活発病予防としての介入やメンタルケア的側面での介入については、避難所生活が長引くほど必要とされることが考えられます。

原稿を書いている今現在(7/29)も、ERATは県の対策本部と連携を取りながら、現地のニーズがあればチームを編成し、断続的ではありますが西予市野村町においても現地支援にあたっている、という現状です。

一日でも早く、被災者の方々の平穏な生活が訪れることを願いながら、我々に無理なくできることを継続支援していく姿勢が大事だと思います。今後も災害支援におけるERAT活動へのご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

報告者 林田聡





社会福祉法人 山路白鳩福祉会  
子ども発達支援 ぽっぽ白鳩



当施設は白鳩保育園を母体として昨年の平成29年4月に開設された、発達障がいのある子どもの療育を目的とした施設です。当施設では、0～6歳児の未就学児を対象とした児童発達支援事業と、就学児を対象とした放課後デイサービス事業、また同施設内にて、障がいのあるすべての方を対象とした相談支援事業所である「ぴよぴよ」があります。立ち上げ時から言語聴覚士が関わっており、日々、子どもたちの言語療法のみならず、保育士や教員（特別支援学校・特別支援学級の指導経験有り）・感覚統合専門の保育士・音楽療法士などの多職種との連携、保護者との情報交換や相談も行っています。

設立当初より職員全員が右も左もわからぬ手探りでの業務でしたが、1年が経ち振り返ってみると、子どもたちの成長を目の当たりにすることができ、とてもやりがいを感じられました。子どもたちだけでなく職員ものびのびと居られる場所です。

ぽっぽ白鳩 芥川まゆみ 渡邊すす



Conference

平成30年度 第2回理事会

日時：平成30年6月14日（木） 19：00～21：00

場所：南高井病院 参加人数：18名

#### ◇報告事項

県士会法人化に向けて検討会議、H30年度 ERAT 理事会、新居浜市地域リハビリテーション活動支援事業委託協議に向けての話し合い、平成30年度定時社員総会、会員情報、生涯学習プログラム専門講座、生涯学習プログラム基礎講座 学術集会特別講演、地域リハ等関連事業、訪問リハビリテーション地域リーダー会議、愛媛県リハビリテーション専門職協会、グループ活動制度、ERAT 関連、言語聴覚の日実行委員会

#### ◇協議事項

- 1) 一般社団法人化に向けて
- 2) 全国学会の会場確保について
- 3) H30年度難病患者相談会における講師選定について
- 4) 人材育成事業における DVD 研修会開催について

◇予定 理事会 8/16

